

埼玉親善大使レポート

滞在先：アメリカ，ミズーリ州
齊藤 陸

私は、現在博士前期課程1年で、リハビリテーション医学に関する研究室に所属しています。そこで、2022年9月の1ヶ月間、Washington University in St Louis (WashU) の Mckelvey School of Engineering にある生体工学を専門とする研究室に留学しました。

滞在中の研究室は、12人程度のメンバーでアメリカでは中規模の研究室です。主な研究内容は、特に上肢(肘関節)の腱・靭帯に焦点をあて、ラットなどの動物モデルを用いて脱臼などの外傷後の靭帯に対する理学療法の効果などを解明し、臨床における治療ガイドラインを決定するための基礎データを提供しています。私自身も靭帯損傷後の理学療法の効果解明について研究しているため、非常に親和性が高く、所属研究室の教授の紹介のもと留学地として決定しました。滞在中は留学先のメンバーとディスカッションをしながら、実際に実験に参加することで多くの研究手法を学ぶことができました。それだけでなく、WashUはアメリカでも有数の教育・研究機関で、数々のノーベル賞受賞者を輩出しています。そのため今回滞在中の Engineering 以外にも Medical や Biology などの他分野にも一流の研究室が揃っており、それらの研究室とも容易に共同研究を行うことができます。滞在中の研究室でも、多分野の研究室との共同研究を実際に行っており、大学のスケールの大きさを感じました。今回学んだことは、今後の私の修士研究にも生かしていける内容であるため、今回の縁を生かして国際共同研究を行い、よりインパクトのある研究をできるよう頑張りたいと思います。

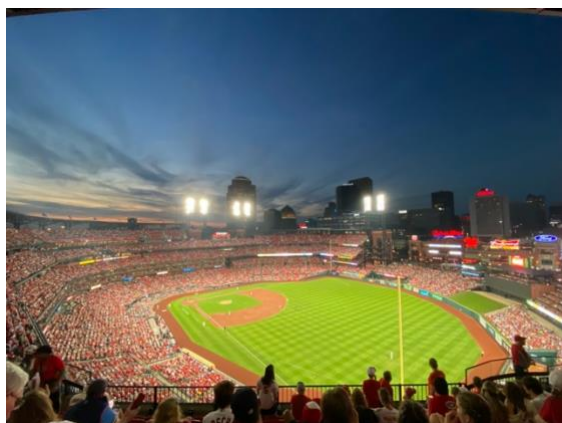
今回滞在中のミズーリ州セントルイスは、MLBのセントルイス・カーディナルスが本拠地を置く街で、熱狂的なファンが非常に多く、街を歩けばカーディナルスの帽子やユニフォームを着た人たちを見かけ、野球に熱い街でした。もちろん、ホームゲームの日になると電車はカーディナルスの赤いシャツを着た人たちで埋め尽くされます。実際に私も本拠地のブッシュスタジアムで観戦することができ、初めての野球観戦でしたが、非常に熱いゲームでとても興奮したのを覚えています。また、野球観戦以外にも大学の近くにはNYのセントラルパークよりも広い公園があり、無料で入れる美術館や動物園、科学館などがあるほか、ダウンタウンの方にはセントルイスのシンボルとなっているゲートウェイアーチなどがあり、休日の観光には困りませんでした。治安はあまり良くないとされていますが、日中に外を出歩く分には

大きな問題はなく、外を歩いていると挨拶をしてくれる人も多く、暖かい街だと感じました。物価はアメリカでは低い方とされているようですが、今回の滞在は円安の影響をかなり受けたため、生活費が想定よりもかかってしまい、その点だけが今回の留学で問題となった点でした。しかし、総じてとても充実した1ヶ月間を過ごすことができました。

今回は1ヶ月間と短期の滞在でしたが、研究室で多くの学びを得ることができただけでなく、初めて1人での海外生活を経験したことで、自分自身に自信を持つことができました。また、拙い英語ながらもアメリカで生活できた経験は、今後のキャリアを考えていく上でも視野を広げることにつながり、非常に有益な体験となりました。とても楽しく充実した1ヶ月間を過ごすことができ、また共同研究者としてもう一度訪れたいと考えています。



滞在した Washington University in St Louis の Danforth Campus



セントルイスカージナルスの本拠地



ゲートウェイアーチ